

JA全農 とくしま情報

地域の話題や活動のご報告
今後のお知らせなど
JA全農とくしまと、あなたをつなぐ
コミュニケーション情報誌

2022
8月号
No.754



入場ゲートで徳島県産スタチやPRパンフレット等を配布する関係者(京セラドーム大阪)

マンスリーレポート ————— 2

- ・「阿波ふうど」プロモーション in 京セラドーム大阪
- ・令和4年度徳島県蓮根消費拡大協議会定期総会
- ・令和4年度徳島県すだち・ゆこう消費推進協議会定期総会
- ・クボタトラクター技術研修会
- ・第2回果樹部会「ナシ園地巡回および情報交換会」
- ・令和4年度第15回徳島県JA農産物検査員育成研修会
- ・徳島県内JA園芸物流研修会
- ・JA大津松茂管内で農業用ドローン追肥試験
- ・徳島県産地育成功労者等感謝状贈呈式
- ・JA里浦で総合展示会開催
- ・JA東とくしまで農機展示会開催

旬の野菜でおうちごはん ————— 8

- ・オクラのイカゲソあんかけ

浜ちゃん・ちっちゃんのうまいモノ絵日記 ————— 9

- ・その⑭ ～夏バテ解消には「シソ」～

交通安全のお知らせ ————— 9

- ・運転中の携帯電話等使用撲滅月間

トピックス ————— 10

- ・営農コラム

マンスリーレポート

～すだち大使らが徳島県産スダチをPR～

「阿波ふうど」プロモーション in 京セラドーム大阪



徳島県産スダチをPRする関係者

7月5日、徳島県すだち・ゆこう消費推進協議会(会長＝長江県本部長)は、大阪市の京セラドーム大阪で開催された「阿波ふうど」プロモーションin京セラドーム大阪でスダチの消費拡大に向けたPRをおこないました。

17時からの入場開始に合わせて、徳島県の勝野副知事、長江会長、徳島県青伸会の佐藤会長、すだち大使の河野さんと古川さん、すだちくんが入場ゲートで観客を出迎え、徳島県産スダチやPRパンフレットなどを先着5000人に手配りました。

試合前にはすだち大使の古川さんが始球式を務め、勝野副知事による徳島県PRや大阪天水連による阿波おどりが披露されました。また勝野副知事、長江会長、すだち大使からオリックスバファローズの杉本祐太郎選手などへ記念品の贈呈もおこなわれました。

この日は、場内のSDBsのお店でもスダチや阿波尾鶏などの徳島県を代表する食材を使った料理がメニュー化され、来場者に徳島県の美味しい食材を印象づけました。



入場ゲートで徳島県産スダチやPRパンフレット等を配布するすだち大使



始球式を行うすだち大使の古川さん



勝野副知事が徳島県のPR



大阪天水連による阿波おどり



徳島県産食材の料理が提供されたSDBsの店舗



～徳島県産蓮根のイメージアップと消費拡大を目指し～

令和4年度徳島県蓮根消費拡大協議会定期総会

7月4日、徳島県蓮根消費拡大協議会(会長＝長江県本部長)は、徳島県JA会館で、県内JA、徳島県、県内市町村、卸売市場、当県本部より関係者28人出席のもと「令和4年度徳島県蓮根消費拡大協議会定期総会」を開催しました。

同協議会は、徳島県産蓮根の消費拡大を促進し、蓮根生産農家の経営安定と発展を図る活動に取り組んでいます。

総会では、▽令和3年度事業報告および収支決算。▽令和4年度事業計画(案)および収支予算(案)が審議され、満場一致で承認されました。

なお、令和4年度事業計画の主な取り組みは以下のとおりです。

- 卸売会社と共催した量販店での販促キャンペーンの実施
- 小学生や大学生を対象とした食育活動の実施
- アウトドアイベントでの販促活動
- 新聞・雑誌・テレビ・ラジオなどマスメディアを通じたPR
- SNSによる一般参加型のレシピコンテストの開催



あいさつを行う長江会長



会議の様子

～すだち・ゆこうの知名度向上・消費拡大へ～

令和4年度徳島県すだち・ゆこう消費推進協議会定期総会

7月14日、徳島県すだち・ゆこう消費推進協議会(会長＝長江県本部長)は、徳島県JA会館のすだちホールで、県内JA、徳島県、県内市町村、卸売市場、当県本部より関係者29人出席のもと「令和4年度徳島県すだち・ゆこう消費推進協議会定期総会」を開催しました。

同協議会は、栽培農家の経営安定をはかるため、徳島県産のすだちとユコウの消費宣伝活動に取り組んでいます。

総会では、令和3年度事業実績と令和3年度収支決算、令和4年度事業計画(案)と令和4年度収支予算(案)が審議され、満場一致で承認されました。

なお、令和4年度事業計画の主な取り組みは以下のとおりです。

- テレビやインターネット・新聞・雑誌などマスメディアを通じたPR
- 市場や仲卸と連携した量販店や流通関係者等への積極的な消費宣伝
- すだち大使による県内外での各種イベント活動や企業とのタイアップ宣伝
- 香川県讃岐うどん店や首都圏飲食店等でのPR活動、外食関係等の業界に向けた販売促進、業務筋の開拓
- 県内外の行政や教育機関と連携した食育活動



あいさつを行う長江会長



会議の様子

マンスリーレポート

～農機事業のサービス拡充へ～

クボタトラクター技術研修会

7月4日、全農本所徳島農機事務所は、同事務所および中央農機整備センターで、株式会社中四国クボタ技術研修部より、松本課長、塚挟係長を講師に招き、関係者18人出席のもと、クボタトラクター技術研修会を開催しました。

座学では、納品・試運転の仕方、構造、関連オプションや仕様、点検・調整方法などについて説明があり、出席者は熱心に耳を傾けていました。

続いて、中央農機整備センターで、修理・整備する際のコツや注意点などについて実演機を用いて講義を受けました。

同事務所では、今後もこうした技術研修会を開催し、JA農機事業のサービスの拡充を図ってまいります。



座学の様子



実機を用いた研修の様子

～産地と情報交換し効果的な果樹生産へ～

第2回果樹部会「ナシ園地巡回および情報交換会」

7月15日、徳島県農業技術普及連絡協議会（会長＝長江県本部長）は、JA板野郡、JA大津松茂の担当者、徳島県、とくしまブランド推進機構、当県本部など関係者25人出席のもと、第2回果樹部会「ナシ園地巡回および情報交換会」を開催しました。

出席者は、JA板野郡管内の生産者や徳島県上板果樹試験場の園地を巡回し、2019年より取り組んでいるジョイント栽培の状況を視察しました。

果樹試験場でおこなわれた情報交換会では、各産地のナシの生育状況やジョイント栽培状況について、JA担当者や農産園芸研究課研究員、農業支援センター担当者による報告がおこなわれました。

出席者からのジョイント栽培における苗の育成方法や技術的課題に関して多くの質問や意見が述べられ、活発な情報交換会となりました。

ジョイント栽培とは、神奈川県が開発した新しい技術で、主枝の先端部を隣の樹へ接ぎ木し、連続的に連結させ一直線状の樹形とする栽培方法。

枝の配置が単純になり、剪定などの管理作業の省力化・早期成園化が図られる。



ジョイント栽培の状況を視察する関係者



情報交換会の様子

～信頼される農産物検査員の養成へ～

令和4年度第15回徳島県JA農産物検査員育成研修会

7月22日、徳島県JA農産物検査協議会（会長＝JA徳島市・井河宮農経済部長）と当県本部は、徳島県JA会館で「令和4年度第15回徳島県JA農産物検査員育成研修会」の閉講式をおこないました。

本年度の研修会には、県内の9JAと当県本部から16人が受講し、6月21日から7月22日までの14日間で農産物検査員としての知識や技能、検査方法などの基礎課程を修了しました。

閉講式では、当県本部米穀畜産部の新見部長より、16人の研修生全員へ基礎課程修了証書が授与されました。

最後に講評があり、同協議会の井上講師が「今後の現場研修を経て検査員になっても日々が研修です。各現場で経験を重ね立派な検査員になってください」と研修生を激励されました。

今後、研修生の方々は現場研修を経て、来年にはJA農産物検査員として登録され、令和5年産米の検査からそれぞれの地域で活躍される予定です。



米穀畜産部の新見部長が基礎課程修了証書を授与



研修生への激励の言葉を述べる
徳島県JA農産物検査協議会の井上講師

～物流2024年問題に向けた理解醸成～

徳島県内JA園芸物流研修会

7月26日、当県本部園芸部は、徳島県JA会館で「徳島県内JA園芸物流研修会」を開催しました。これは、園芸事業における『物流2024年問題』について、課題認識を共有し、適切な対応を図ることを目的として開催したもので、県下JAより役職員30人が出席しました。

『物流2024年問題』とは、働き方改革関連法によって2024年4月からトラックドライバーに「時間外労働時間の上限規制（1日13時間・年間960時間以内）」が適用されることで運送・物流業界に生じる諸問題を指します。園芸物流においても従来の燃料価格高騰や人手不足に加えて、今後さらに「ドライバーの収入減少」「運送会社の売上減少」「荷主の支払運賃上昇」といった影響が懸念されています。

今回の研修会では、全農本所園芸部の小河次長による「園芸物流を取り巻く環境と対応すべき方向」と題した講義がおこなわれ、続いての意見交換では、参加者から「運賃と付帯作業料の明確化はどう進めるべきか」「パレット費用を受益者の応分負担にできないか」といった質問があり、課題と対応について認識と理解を深めました。



あいさつを行う長江県本部長



全農本所園芸部の小河次長による講義

マンスリーレポート

～JAアグリサポートで生産現場の支援へ～

JA大津松茂管内で農業用ドローン追肥試験

7月7日、JA大津松茂は管内の蓮根圃場(松茂町・大津町)で、JA組合員、JA役職員、ヤンマーアグリジャパン株式会社、徳島県、全農本所徳島農機事務所、当県本部営農資材部など関係者約30人参加のもと、「ドローンによる追肥試験」をおこないました。

同JA佐々木組合長は「ドローンによる蓮根への追肥は日本初の試みで、手軽に手間をかけずに品質の良い蓮根ができると確信している。今後、株式会社JAアグリサポートでこの事業を請け負い、生産者支援をおこなっていきたい」とあいさつされました。また、同JA肥料担当者、ヤンマーアグリジャパン株式会社担当者からは肥料や実機に関する説明がおこなわれました。

今回の試験では、ヤンマー社のドローン「産業用マルチローターT-30」、試験肥料は徳島県協同肥料株式会社のBB肥料(エムコートL40、くみあい52被覆塩加40混合)が使用され、約40アールの松茂町の圃場には、肥料200kg(施肥量は10アールあたり50kg)を約30分で散布しました。

ドローンの機体に搭載されたGPSにより、圃場の範囲を正確に飛行できるとともに、作物からの距離も一定に保つことで均一な散布が可能となり、高精度の散布と大幅な省力化が期待できることが確認されました。

蓮根の生産に欠かせない追肥作業ですが、生育後半には葉が大きくなり圃場の中に入りにくくなるため施肥散布がしづらく、生産者にとって労力を費やす作業となっています。

参加された組合員の方々は「作業がかなり楽になり省力化が期待できる」など、ドローンによる追肥散布への関心の高さがうかがえました。



正確に飛行し高精度の散布を行うドローン



あいさつを行う佐々木組合長(左端)



ドローンに肥料を搭載する関係者



徳島県協同肥料(株)が提供したBB肥料

～「販売促進功労者」に東果大阪株式会社元シニアアドバイザーの吉川勝氏～

徳島県産地育成功労者等感謝状贈呈式

7月29日、大阪府大阪市の東果大阪株式会社で、徳島県産農林水産物の産地育成やブランド化、販売戦略の推進に顕著な功績のある指導者などを表彰する「徳島県産地育成功労者等感謝状贈呈式」がおこなわれ、同社元シニアアドバイザーの吉川勝氏が「販売促進功労者」として徳島県知事より表彰されました。

贈呈式では、飯泉嘉門徳島県知事より吉川氏へこれまで取り組んできた県産ブランド品目の育成と確立、青果物販売の流通・販売促進への功績に対し、感謝状と記念品が贈呈されました。

吉川氏は、昭和56年に東果大阪株式会社の前身である東果大阪東部青果株式会社へ入社、平成29年4月に常務執行役員に就任し、その後令和4年3月にシニアアドバイザーを退任されるまで、40年にわたり青果物販売業界で活躍されました。

また、同社における本県の窓口として徳島県産青果物の流通販売活動や産地指導に尽力していただき、同時に京阪神市場で組織する「徳島県青伸会」に14年間在籍され、平成25年からは会長を務めていただくなど、活動全般に多大な功績を残されました。

この度の表彰をお祝いするとともに、今後のご活躍をお祈りいたします。



東果大阪株式会社
元シニアアドバイザー吉川勝氏(中央)

～農機や県産飲料を販売～

JA里浦で総合展示会開催

7月5日、JA里浦野菜集出荷施設で「JA里浦総合展示会」(主催＝JA里浦)が開催されました。

展示会場には、大型農機や農機小物商品などが展示され、来場された生産者は実際に試乗したり商品に触れながら興味のある商品について、JA役職員や全農本所徳島農機事務所職員に熱心に質問をしていました。

また、全農本所徳島生活推進課はすだち飲料「ザすだち」「徳島すだち微炭酸」を販売し、ジェイエイ徳島燃料サービス株式会社はJAでんきの推進をおこないました。その他各ブースでは、健康食品やシロアリ無料調査が出展されており、豪華賞品が当たる抽選コーナーには、早くから長蛇の列ができ大変にぎわっていました。



抽選コーナー



試乗をして機能を確認



さまざまなブースが並ぶ展示会場

～農作業を応援、農機の展示販売～

JA東とくしまで農機展示会開催

7月9日～10日、JA東とくしま小松島農機SCで「JA東とくしま小松島農機SC・サマーフェスティバル」(主催＝JA東とくしま)が開催されました。

9日朝の開会式では、荒井組合長のあいさつのあとJA役職員や全農本所徳島農機事務所職員、メーカー、関係者によるガンバロウ三唱がおこなわれました。

展示会場には、トラクター、コンバインなどの大型農機や小型機械などが展示され、来場された生産者が機能や特徴を確かめていました。また、トラクターの実演などもおこなわれ来場者は操作性を確認していました。

2日間にわたり多くの来場者が、実際に農機に触れたり担当者へ熱心に質問する場面が見られました。



トラクターの実演



乗り心地はどうか？家族連れの来場者



お客様へ説明をする担当者

料理研究家HITOMI先生が薦める、簡単スピーディー、そして楽しんで作れるレシピをご紹介します！



オクラのイカゲソあんかけ



▼材料(4人分)

オクラ……………8本
イカゲソ……………100g
白ごま……………大1

A { めんつゆ(2倍濃縮) ……大1
水……………大3
生姜(すりおろし) ……1片分

B { 片栗粉 ……小1
水……………小2

▼作り方



① オクラは塩(少々)で軽くもみながらうぶ毛をとり、ヘタとガクも切る。



② 熱湯で1分程ゆで冷水に放ち、包丁の背で軽く叩いて粘りを出す。

③ 鍋にAとイカゲソを入れて煮立て、Bでとろみをつけ、②にかけ白ごまをふる。

POINT

軽く叩くと粘りがでて、滑らかな口当たりになります。



料理研究家 HITOMI <http://www.hitomi-cook.com>

◎免許：調理師免許、食空間テーブルコーディネーター2級、JA全農とくしま園芸部 クッキングアドバイザー
◎賞：2014年NHK社会貢献賞授与 ◎活動歴：TV=NHK徳島放送局料理コーナーレギュラー出演／ラジオ=TBS「伊集院光とラジオと」に毎月レシピ提供 ◎JA全農とくしまとのコラボイベント：大阪ガスハグミュージアムにて鰻を使った爽やか料理講習会／大阪中央卸市場にて徳島県の食材を使った料理講習会 ◎カルチャー講師：兵庫イオンカルチャー(姫路、加古川、明石の3店舗)講師／神戸市立長田区勤労センター、神戸市立西区民センター講師 ◎店舗用レシピ開発、商工会での商品開発など



その147 ～夏バテ解消には「シソ」～

◆高級ふりかけ◆

和風ハーブの代表格のひとつが、紫蘇（シソ）。シソは、葉だけでなく、若芽、花穂、実も食用にされる。主に刺身や手巻き寿司、冷奴などの料理の香味付けや彩りなどの添え物、魚の臭み消しなどに使われる。高級なふりかけにはシソの実が入っていて、非常に食欲をそそるいい香りがする。

シソ巻きや、大葉の天ぷらも大好きである。とっておきは、たっぷりのゴマとコショウや七味とうがらしを加えためんつゆにつけ込んだシソの葉を、味付けのりのように、ご飯にくるんで食べると、食欲が出る。夏バテ解消には、シソである。

◆シソの産地◆

徳島県内のシソの産地であるが、JA徳島市多家良支所は、赤シソの産地として有名である。ふりかけの原料として契約した工場へ出荷されている。JA名西郡神山支所は青シソ（おおば）として、市場に流通している。

兼業小規模農家の私は、地元JA担当者からの強い要望もあり、JA大津松茂直売所「えがお」へ出荷している。出荷調整には、葉っぱ1枚1枚をそろえて袋に詰めるので、大変手間がかかる。大きさもそろえなくてはならないので、シソの出荷時期は、夜なべになることもしばしばである。



◆シソの料理で夏バテ解消◆

釣り師には、青シソ（おおば）は欠かせない。たまに釣れたお魚をさばいて、お刺身に添えてツマにする。夏バテで、食欲がないときでも、葉を切り刻んで、パスタにふりかけたり、そうめんのめんつゆに混ぜると、食欲が戻る。ささみの

◆おいシソー・うれシソー◆

私も年を取ったが、シンプルで質素（しっそ）なシソ料理を見ても、美味しそう（おいシソー）と思ってしまう。そして、嬉しそう（うれシソー）な顔になる。いつまでも単純な還暦過ぎのおじいさんである。

交通安全のお知らせ

運転中の携帯電話等使用撲滅月間

8月は「運転中の携帯電話等使用撲滅月間」です。

令和元年12月1日から携帯電話等の使用による運転いわゆる『ながら運転』の罰則が強化されました。

徳島県では、平成28年にポケモンGOをしながら車を運転していた運転手が2人を死傷させた交通死亡事故が発生しました。携帯電話は便利な物ですが、運転中に使用すると重大な事故を起こす危険性があります。絶対に運転中の携帯電話やスマートフォン等の使用はやめましょう!!

1 運動期間

令和4年8月1日(月)から同年8月31日(水)

2 携帯電話使用等による交通違反

(道路交通法第71条第5号の5)

(1) 携帯電話使用等(保持)

自動車又は原付車を運転するときは、停止している時を除き、携帯電話用装置等を通話のため使用し、又は、画像表示用装置に表示された画像を注視してはいけません。

● 6か月以下の懲役又は10万円以下の罰金

違反点数3点

反則金(単位:千円) 大型:25 普通:18

二輪:15 原付:12

(2) 携帯電話使用等(交通の危険)

携帯電話使用等(保持)の違反をし、よって道路における交通の危険を生じさせた場合。

● 1年以下の懲役又は30万円以下の罰金

違反点数6点

反則金対象外

※ 自転車運転中の携帯電話等使用もダメ!!

(徳島県道路交通法施行細則第14条第5号)

3 自動車運転中の注意点

(1) 運転中にどうしてもスマートフォンなどの携帯電話を使用しなければいけないときは、必ず安全な場所に停車してから使用してください。

※ 路肩も他車の通行に迷惑をかけます。安全で迷惑性のないところを選んで停車してください。

(2) 運転中はドライブモードや機内モードを利用しましょう。

4 歩きスマホも危険

「歩きスマホ」は、スマートフォン等携帯電話に集中することにより、周囲の注意力が散漫となる危険な行為です。転倒したり、道路への飛び出しによる交通事故を引き起こす可能性もあることから、絶対にやめましょう。

徳島県警察本部 交通企画課



営農コラム

夏期の注意点

営農支援課 技術主管 隔山 普宣

気象庁の3ヵ月予報を見るとラニーニャ現象の影響で8～9月は厳しい暑さになり、秋雨や台風シーズンに入ると大雨が起きやすくなっています。

お盆前後から稲刈りが始まり、並行して野菜の育苗、圃場の土づくりなど作付け準備の時期となります。色々な農作業が集中してくるこれからの時期に特に注意しておくことを何点か紹介します。

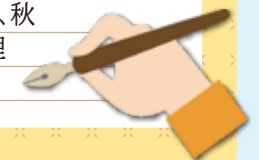
最も気をつけなければならないことは、「熱中症」です。7月中旬から9月上旬までは最高気温が30度を超える時期となり、農作業中の熱中症の発症もその時期に集中しています。熱中症対策のポイントは、20～30分に一度休憩をとり、こまめに水分と塩分の補給をすることです。イオン飲料や塩分タブレット、塩をひとつまみ入れた麦茶などがおすすめです。

次は「台風対策」です。台風は年間約12個が日本に接近し、約3個が上陸しています。発生・上陸ともに8月が最も多く、次いで9月、7月の順となっています。特に9月以降は日本付近を通る場合が多く、秋雨前線の活動を活発にして大雨を降らすことがあります。事前対策としては、圃場の周囲や圃場内に排水溝を整備します。播種または定植している野菜は寒冷紗等をべたがけ被覆して風雨による被害を防ぎます。事後

対策としては、冠水した場合は速やかに排水対策を行います。露地野菜などが風雨にたたかれた場合は、殺菌剤の予防散布を行い、併せて液肥の葉面散布や中耕を行います。

作付け前には「土づくり」が重要です。化学肥料が高騰する中、堆肥に注目が集まっています。堆肥は原料によって性質が異なるため、目的により堆肥の種類を選ぶことが重要です。鶏ふん堆肥は肥料成分が比較的多く、速効性があり、化学肥料に近い形で使うことができます。しかし、粗大有機物がほとんど含まれていないため、物理的な改善効果はあまり期待できません。牛ふん堆肥は肥料成分が少なく、有機物が多く含まれているため、土壌改良効果が期待できます。豚ふん堆肥は鶏ふん堆肥と牛ふん堆肥の中間的な性質を持つ堆肥です。また、未熟な堆肥は独特の臭気が残っている場合があるため、散布は風の強い日は避け、その日のうちに耕うんするなど適正に使用しましょう。

以上のことはもとより、高温期の育苗、高温乾燥時の灌水、病害虫の防除などにも注意し、秋にはよい物が多く収穫できるよう管理に努めましょう。



米穀総合課

新米徳島県産コシヒカリ 10%増量企画品を発売

当県本部米穀総合課では、徳島県産米の一層の需要を喚起し、お米の消費拡大をはかるため、8月下旬より関西圏の量販店に向けて「徳島県産コシヒカリ」の5kg入り商品を10%増量した、5.5kg入り新米増量企画品を発売しました。

パッケージは、親しみやすい「阿波踊り」のイラストや、徳島の方言「阿波弁」を使用し自然豊かな「食の宝庫」徳島県のお米を表現しています。

◇ 対象商品：徳島県産コシヒカリ（普通精米）

◇ 内容量：5kg+500g

◇ 販売時期：8月下旬～（数量限定）

※関西圏の量販店での販売のみ



～すだち大使が徳島県産スダチをPR～

四国放送開局70周年 セブンスマイルJRTラジオ感謝祭

7月2日、徳島県すだち・ゆこう消費推進協議会（会長＝長江県本部長）は、徳島市で開催された四国放送開局70周年セブンスマイルJRTラジオ感謝祭に参加し、徳島県産スダチのPRをおこないました。

新町橋東公園に設営されたスマイルステージでは、すだち大使の古川さんと園芸販売課職員が、スダチ3個入箱、ザすだち（飲料）、ザ・キャロット（飲料）などをそれぞれ先着200人に配布しました。猛暑のなか、訪れた来場者からは「とてもサッパリして美味しいです」と大変好評をいただきました。

また、阿波銀ホールでおこなわれた四国放送ラジオの公開生放送番組にはすだち大使の古川さんが出演し、MCの保岡アナウンサーとの掛け合いで、徳島県産スダチやザすだち（飲料）の魅力を発信しました。



スダチを配布するすだち大使の古川さん



保岡アナウンサーと徳島県産スダチの魅力を発信

～すだち大使がザすだちとすだち微炭酸をPR～

JRT四国放送ゴジカル！ 「笑味ちゃん天気予報」出演

7月22日、徳島県すだち・ゆこう消費推進協議会（会長＝長江県本部長）は、JRT四国放送のテレビ番組「ゴジカル！」（月～金曜日午後4時50分～放送）の天気予報とあわせて旬の農産物などの魅力を伝える「笑味ちゃん天気予報」JA共済連徳島提供（後援＝JAグループ徳島）のコーナーで、ザすだちとすだち微炭酸をPRしました。

森本アナウンサーとのやりとりで、すだち大使の古川さんが「ザすだちはスダチの果汁を使っているので爽やかに飲んでいただけます!」、「甘さ控えめのすだち微炭酸は優しいシュワシュワ食感が夏にぴったりです!」とザすだちとすだち微炭酸の魅力を発信しました。

すだち微炭酸を試飲したレギュラーコメンターのみっとしーさんも「おいしい!」と笑顔でコメントされていました。

最後に古川さんが購入先について「JAタウン新

鮮大好き徳島では、徳島の美しい水と豊かな自然で育った新鮮な農畜産物や加工品をお買い求めできますので、ぜひご利用ください!」と視聴者にお伝えしました。



すだち大使の古川さんがスダチ飲料をPR!



出演者のみなさん

JA全農とくしま



JAタウン
「新鮮大好き徳島」



JA全農とくしま
YouTubeチャンネル



JA全農とくしま
Instagram



JA全農とくしま
クックパッド



JA全農とくしま
ホームページ

全農グループ経営理念

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心して結ぶ懸け橋** になります。

—私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

全農

JA全農とくしま

<https://www.zennoh.or.jp/tm/>



「JA全農とくしま情報」に 関するお問い合わせ先

本紙「JA全農とくしま情報」の購読料・配送料は
無料です。送付先の氏名・住所変更や、
送付の停止につきましては、
JA全農とくしま企画管理課広報室
(電話 088-634-2462)
までご連絡ください。

